



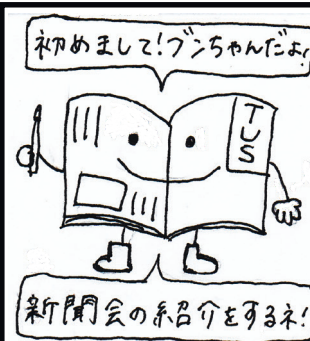
本学学生は入学にあたり、地方から東京をはじめとする関東で一人暮らしを始める学生は少なくない。慣れない一人暮らしに四苦八苦するだろう。

せっかく、東京で暮らすことになったのだから東京の有名なスポット、観光地を回ってみたいと思うだろう。そこで、東京に来たら絶対に見ておくべきスポットを3つ紹介する。既に東京に住んでいる人も行ったことのない場所があるかもしれない。ぜひ新しくできた同級生と一緒に回ってみるのも良いだろう。



東京都墨田区にある東京スカイツリー。634mの高さを誇っており、展望台から見える景色はとても綺麗だ。しかし入場料が少々高額なため、展望台に昇ることを断念した人も多いだろう。そこで、今回はスカイツリーの近くにある東京ソラマチ、その中にあるプラネタリウムと水族館を紹介していく。

「コニカミノルタプラネタリウム 天宮 in 東京ソラマチ」



東京理科大学新聞とは、理科大学における学内唯一の学生新聞で、一九五〇年から発行されているよ



神田沙也加さんのナレーションと共に、幻想的な星空に吸い込まれてみてはいかがだろうか。

完全人工海水化を実現した「すみだ水族館」では、飼育スタッフが働く様子を見ることが出来るアクアラ



▲東京スカイツリー (東京都墨田区)



▲築地市場の場外 (東京都中央区)

ボヤ、ゆりかごを題材とした数々の水槽がある。国内最大の屋内開放のプール型水槽ではペンギンとオットセイを間近で観察できる。水の中で暮らす生き物たちの姿を見て癒やされるのも良いだろう。

行き交う場所でもあるため注意が必要である。一方、場外は、魚屋や干物屋、飲食店などが数多く並び、グルメスポットとして人気を集めている商店街だ。場外の至る所で「新鮮な魚が食べられるよ!」「おまけするよ!」などと威勢の良い声が響く。狭いエリアに築地の活気ある店が並んでいるため、地図を見ながら歩いても、およそ30分で全て回ることもできる。さらに、場外ではタイミングが良いとマグ



東京駅は1914年12月20日に開業し、昨年100周年を迎え、「開業100周年記念Suica」発売に関して話題となった。戦前の姿を再現した東京駅は、新時代の象徴として、これからも話題となっていくだろう。

お勧めのスポットは、八重洲口改札を出てすぐに「東京駅一番街」がある。ここでは日本を代表する大手菓子メーカー3社のアンテナショップが集結した「東京おかしランド」、東京を代表する有名ラーメン店8店舗が集結した「東京ラーメンストリート」、テレビ局ショップや人気キャラクターショップが集結した「東京キャラクターストリート」などがある。バラ

口の解体を間近で見ることが出来るのも魅力の一つである。

ちなみに、今では全国に展開する吉野家の第1号店は築地から始まった。ここでは「つゆだく」の他に、常連さん限定で「つめしろ」(冷えた「飯の牛丼」や「とろだく」(脂身の多い肉の牛丼)といった少し珍しいオーダーがあるようだ。



▲東京駅の丸の内駅舎 (赤レンガ駅舎)



●講義にはきちんと出席しよう。

毎回の講義が何よりも大切である。重要なところは繰り返し講義されるので、試験に出るポイントも分かるだろう。また、講義に出席することによって教科書を読むだけでは難しい内容も理解が深まるはずだ。講義で、自分が学ぶ専門分野に対してより興味を持つことが出来る。そして、大学では専門分野以外の学問も自由に選択できるので、幅広い知識を得る機会である。この機会を大切にしたい。

●目の前の課題にしっかりと取り組もう。

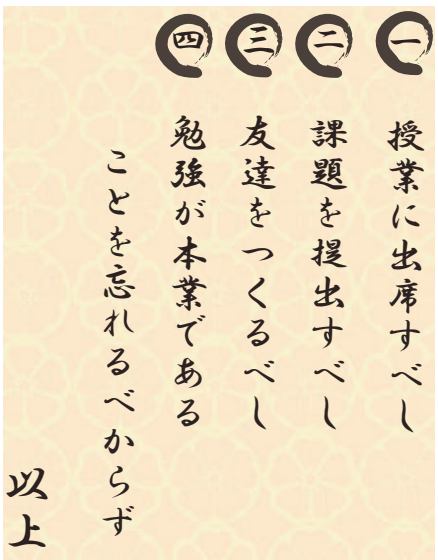
講義を受ける中で、小テストやレポートが課される。違う講義の課題がまとまって課されるときもあるので大変ではあるが、講義を受ける上でモチベーションにもなる。そして、ひとつひとつの課題にしっかりと取り組むことで講義の復習にもなる。苦手をその都度無くしていくことで、理解もより深まる。また、小テストやレポートも成績に加味される場合があるので、毎回気を抜かず取り組もう。それが後々自分に余裕を生むであろう。

●友達をたくさんつくろう。

本学では、友達同士で勉強をしている様子があらゆる場所で見られる。周囲には優秀な学生がたくさんいるので、講義で理解できなかったところや疑問に思ったところを聞いてみよう。また、相手に教えることで自分の理解を深めることも出来る。自分が学んでいることについて教え合ったり、互いを高め合える友達をたくさんつくろう。また、本学の学生にとって、過去の試験問題はとても大切である。所属サークルなどで先輩からもらって過去問はさまざまなので、友達がたくさんいるとこれを共有することも出来る。

●学生の本分は勉強である。

アルバイトやサークル、課外活動など大学生になると新しい生活が始まる。アルバイトやサークルに一生懸命になることは、今しか経験できないことであるし、見聞を広めることにつながるかもしれない。しかし、大学では試験科目も多いので試験前に焦らないために日頃から勉強を行うのが良い。学生ごとに理解するのにかかる時間も異なるので、自分のペースを見つけて復習の方法を考えてもらいたい。充実した学生生活は学習サイクルを確立した上で成り立つのである。



最近の新聞会の業務内容

2015年 1月 「千葉大学に新聞部を作ろうの会」に新聞作成の技術、知識を提供。

- ・慶應大、上智大、青山学院などの関東の新聞サークルが加入している関東学生新聞連盟から勧誘され、加入。

2月・3月

- ・新入生のためのサークル情報が網羅された「TUS+」の作成。
- ・新入生向けの号である4月号の作成。